

授業科目等の概要

(工業専門課程建築デザイン科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			建築計画Ⅰ	建築において使用される単位、寸法などの建築計画の基礎的学習	1通	64	-	○			○			○	
2	○			建築法規Ⅰ	建築関係法令集を用い、建築基準法・関連法規を理解する	1通	64	-	○			○			○	
3	○			構造力学Ⅰ	構造力学の基礎について学習する	1通	64	-	○			○			○	
4	○			一般構造	建築構造（木造・鉄骨造・RC造）の仕組みを学習する	1通	64	-	○			○		○		
5	○			建築環境	日照・日射・光・色彩などの原理を学び、快適な環境を作るための学習	1通	64	-	○			○			○	
6	○			建築史	建築の歴史を知り、建築と社会、都市と建築、気候や材料関係を学習する	1通	64	-	○			○			○	
7	○			建築生産	建築の構造や材料、環境や計画など幅広い知識を習得し、建設行為の生産マネジメントから施工・維持管理などについて幅広く習得する。	1後	48	-	○			○		○		
8	○			建築製図Ⅰ	建築をする上で必要な設計図を描くための基礎演習、木造住宅の図面作図	1通	96	-			○	○		○		
9	○			設計演習Ⅰ	建築計画Ⅰの基礎的学習を踏まえて演習を行う	1通	96	-		○		○			○	
10	○			CAD実習	JW_CADの基本操作を習得し建築図面をCADを用いて作成する実習	1前	48	-			○	○		○		

11	○		BIM実習	BIMの基本操作から学び指定されたモデルを作成、実務で必要となる基本知識を習得する。	1 後	48	-		○		○				○
12	○		建築プレゼンテーション	建築設計の芸術的側面について、形態、素材、色彩、表現方法等を習得し様々な方法で伝えるプレゼンテーション能力を身につける。	1 通	96	-		○		○				○
13	○		造作実習	大工道具を使い、木造の継手と仕口の加工を行い、材料の特徴を学ぶ	1 前	48	-				○	○			○
14	○		インテリア実習	インテリアの提案に必要な色や素材、組み合わせなどを学び、よりよい住空間を提案する力を身に着ける。	1 後	32	-				○	○			○
15	○		就職実務	就職活動の準備として、業界理解・職業理解・自己分析を行う	1 通	16	-	○			○			○	
16	○		建築計画Ⅱ	建築計画Ⅰで学習したことをもとに各種建築物の計画と応用を学習する	2 通	64	-	○			○			○	
17	○		建築法規Ⅱ	建築関係法令集を用い、建築基準法・関連法規を理解する	2 通	64	-	○			○			○	
18	○		構造力学Ⅱ	静定ラーメン系の構造物の応力解法と不静定構造物への拡張、座屈、たわみについて学習する	2 通	64	-	○			○			○	
19	○		建築施工	建築施工の流れに沿って仮設・躯体・仕上げについて学習する	2 前	32	-	○			○			○	
20	○		建築材料	各種建築材料の性能や構造的な特徴について学習する	2 通	64	-	○			○			○	
21	○		建築設備	給排水・空調設備などの建築にかかわる設備について学習する	2 前	32	-	○			○			○	
22	○		建築製図Ⅱ	RC造・S造の図面作成（平面・立面・断面・詳細図）	2 通	96	-				○	○		○	

23	○		建築材料 実験	コンクリートと鉄筋について、材料実験を行 い材料の性質を知る	2 前	18	-			○	○	○			
24	○		測量実習	建築測量の平板測量・水準測量・トラン シット測量を実習し基本を学ぶ	2 前	18	-			○	○	○			
25	○		建築造形	各自の課題を建築模型として表現しスケ ール感・ボリューム感の感覚をつかむ	2 後	32	-			○	○			○	
26	○		総合演習	①設計：公共性のある建物をテーマに演習 を行い企画力・表現力を学ぶ ②施工：建築現場における、施工管理・施 工方法の具体的方法を学ぶ	2 通	192	-		○		○	○	○	○	
27	○		卒業制作	建築設計・建築施工について学習してきた 内容を活かし それぞれにテーマを設け、卒業制作を行 う。	2 通	192	-		○		○	○	○		
合計				27科目		1780	単位時間(単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各科目の出席率80%以上、科目評定C以上、通年出席率90%以上 対面授業が困難な場合は、リモート授業も可能	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。